

一般社団法人 茨城県建築士会

令和7年度 第1回 CPD 委員会 次第

と き 令和8年2月17日（火） 午後3：00～

ところ 水戸市緑町 1-1-18 『茨城県青少年会館』 2階 小研修室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議 題

1) 会員増強について

2) 継続能力開発（CPD）のPRについて

3) 専攻建築士制度の新規および更新PRについて

4) 令和8年度 事業計画案及び予算案について

5) その他

5 その他

6 閉 会

令和7年度 新入会員の一覧【正会員 and 賛助会員】

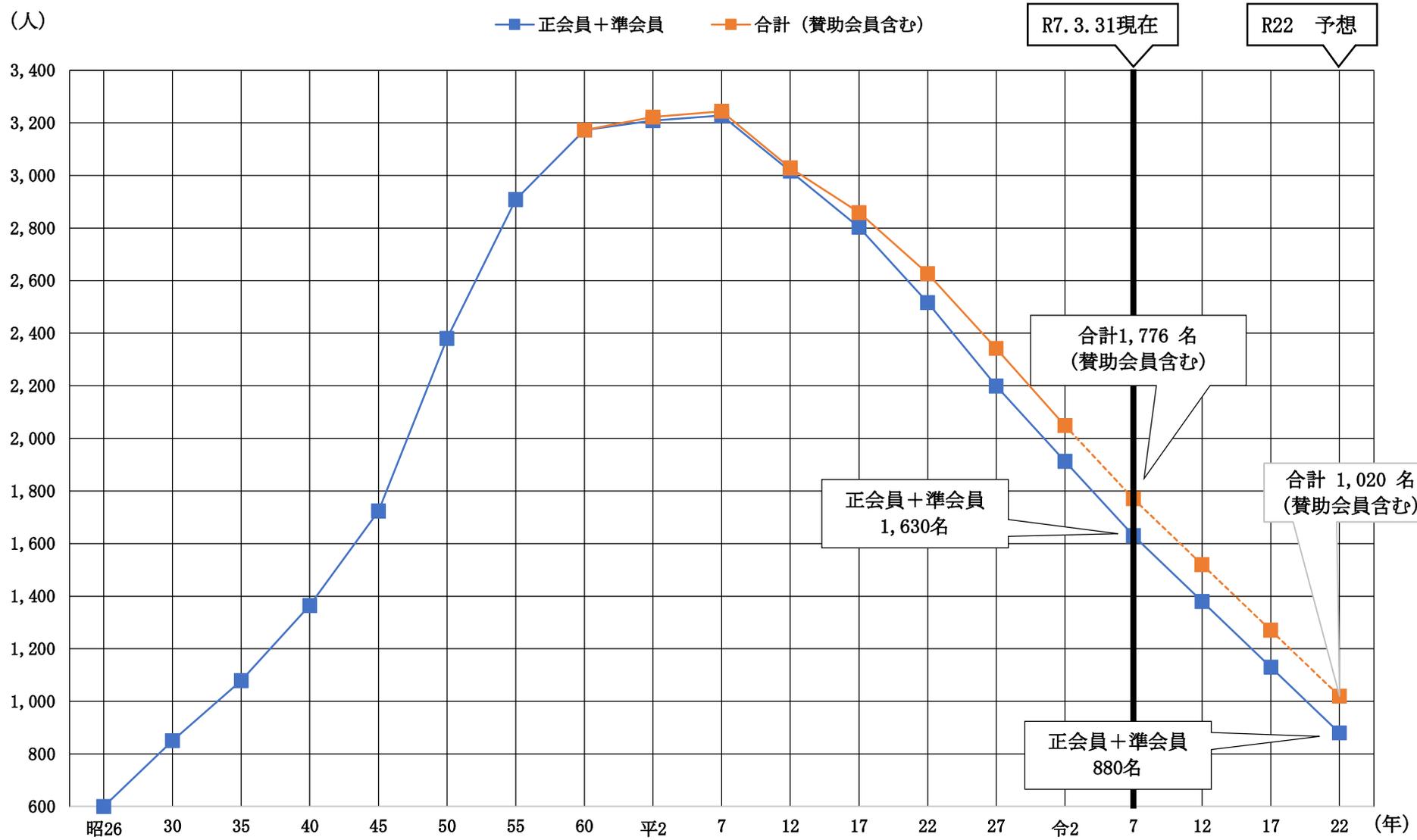
資料-1

【正会員24名、賛助会員9社】

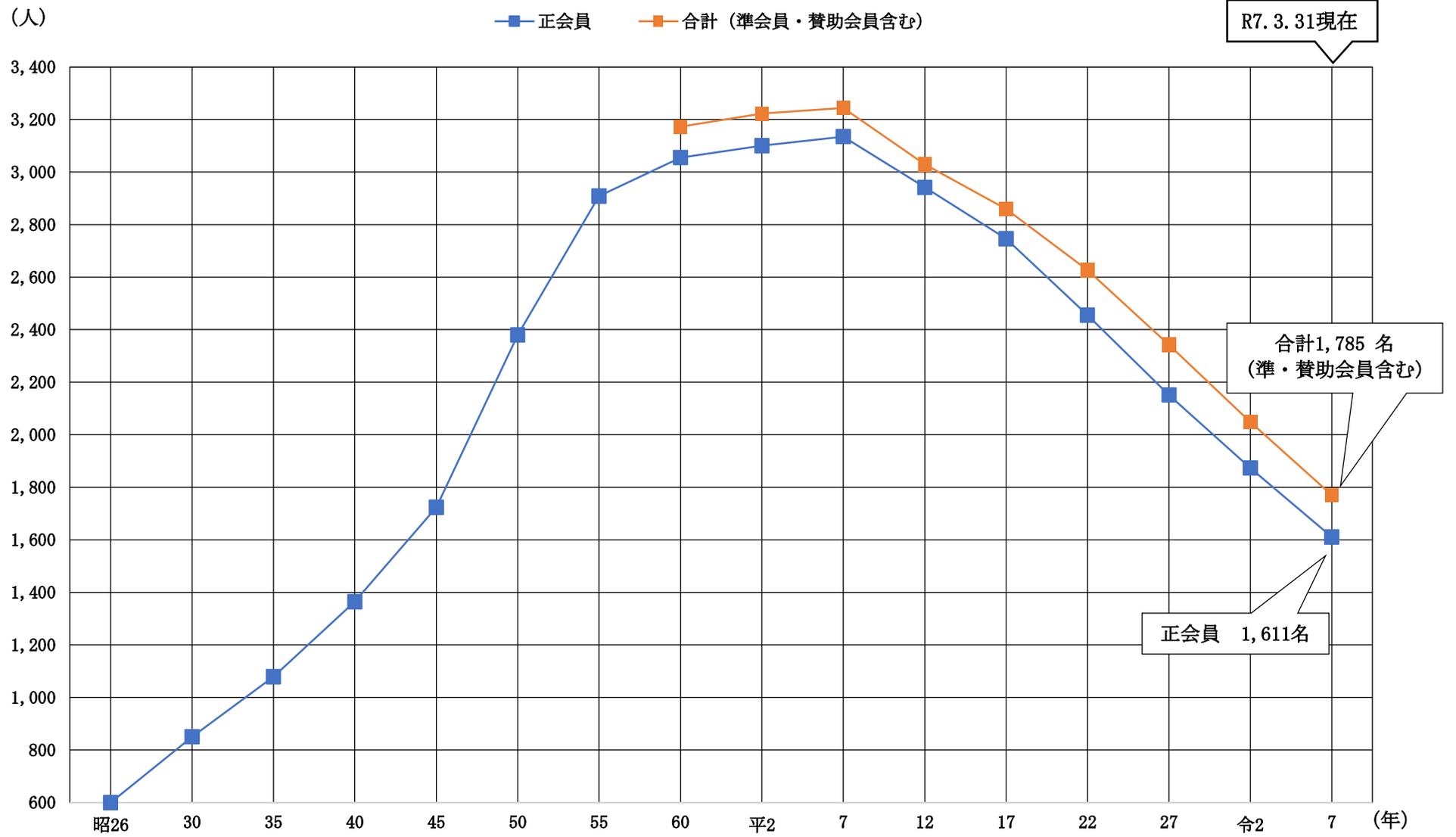
No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者の役職	備考
1	県庁	荘司 泰久	(一財)茨城県建築センター	柴 和伸	会長	社員
2	賛助会	茨城県鐵構工業協同組合		柴 和伸	会長	
3	賛助会	茨城県塗装工業組合		柴 和伸	会長	
4	賛助会	(公社)日本建築家協会 関東甲信越支部 茨城地域会		柴 和伸	会長	
5	筑波	竹田 陽市	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
6	筑波	山形 郁夫	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
7	筑波	矢口 重文	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	
8	筑波	長瀬 光昭	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	
9	筑波	松本 浩司	坂東市役所	相澤 晴夫	副会長	
10	筑西	山中 陽子	(有)アーキテック	中山 和朗	常務理事	
11	県央	高島 浩司	(株)戸頃建築設計事務所	小川 憲一	総務委員長	
12	石岡	古木 いずみ	古木建設	三輪 清司	支部長	
13	土浦	井坂 公一	(株)インフィニート一級建築士事務所	永井 昭夫	支部長	
14	県央	櫻井 郁美	SaCRAFT建築設計事務所	石黒 洋子	総務委員	知人
15	県央	平戸 豊	(株)石川建築研究所	石川 啓司	支部常務	所員
16	県央	関 勇太	KITAI建築設計事務所	石井 邦明	研修委員	知人
17	県央	四ツ倉 昌佳	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員	社員
18	鹿島	久米 健一	(株)高正建設	高橋 文男	まちづくり委員	社員
19	県央	大橋 美幸	果実建築設計室	滑川 浩一	相談役	取引事務所
20	土浦	児玉 理文	あや設計 一級建築士事務	石坂 健一	元支部長	取引事務所
21	県庁	萩元 悠文	(株)安心確認検査機構	舞木 善郎	安心確認の役員	社員
22	筑波	戸塚 かおり	(株)安心確認検査機構	若柳 綾子	ヘリテージ	取引事務所
23	筑波	加藤 侑	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	ヘリテージ	所員
24	石岡	小田 邦江	(有)ナオエ総合設計	菊池 直衛	元副支部長	所員
25	日立	櫻岡 佳太	(株)白土工務店	先輩と交代	先輩	社員
26	竜ヶ崎	柳町 龍哉	(株)柳建設	先輩と交代	先輩	社員
27	常総	中山 佐登子	(株)染谷工務店	染谷 正昭	父	娘
28	賛助会	(株)関川畳商店		若林 純也	賛助会代表幹事	
29	賛助会	(株)テクニティ		若林 純也	賛助会代表幹事	
30	賛助会	(株)タナカ 住宅資材部門 茨城支店		潮田 充	元常務理事	
31	賛助会	コマツ茨城(株)		清水 洋一	会員委員	
32	賛助会	昭和工機(株)		設備設計協会の会員		
33	賛助会	宇賀神電機(株)茨城営業所		設備設計協会の会員		

		平成9年3月31日		平成29年4月1日		令和5年2月15日		令和6年4月16日		令和7年10月15日	
級別	一級	1,203	37.5%	1,254	59%	1,102	60.6%	1,062	61.7%	1,017	62.4%
	二級	1,867	58.1%	823	38.5%	668	36.8%	614	35.7%	570	34.9%
	木造	55	1.7%	14	0.7%	10	0.6%	7	0.4%	7	0.4%
	その他	87	2.7%	46	2.2%	37	2.0%	37	0.1%	37	0.1%
計		3,212	100.0%	2,137	100%	1,817	100%	1,720	100%	1,631	100%
		平成9年3月31日		平成29年4月1日		令和5年2月15日		令和6年4月16日		令和7年1月8日	
年齢別	20歳代	194	6.0%	29	1.4%	7	0.4%	13	0.8%	11	0.7%
	30歳代	598	18.6%	242	11.3%	93	5.1%	71	4.1%	52	3.2%
	40歳代	1,144	35.6%	510	23.9%	363	20.0%	321	18.7%	276	16.9%
	50歳代	776	24.2%	534	25.0%	458	25.2%	426	24.8%	423	25.9%
	60歳以上	500	15.6%	822	38.5%	896	49.3%	889	51.7%	869	53.3%
計		3,212	100.0%	2,137	100%	1,817	100%	1,720	100%	1,631	100%
				うち、女性 180名 8.4%		女性159名 8.7%		女性157名 9.1%		女性 151名 9.2%	
						60歳台・・・528名(29%)		60歳台・・・493名(28.7%)		60歳台・・・454名(27.8%)	
				60歳以上のうち、 70歳以上・・・162名		60歳以上のうち、 70歳台・・・325名(18%)		60歳以上のうち、 70歳台・・・353名(20.5%)		60歳以上のうち、 70歳台・・・362名(22.2%)	
				80歳以上・・・25名		80歳台・・・41名(▲5名)		80歳台・・・41名(±0名)		80歳台・・・50名(+9名)	
				90歳以上・・・5名		90歳台・・・2名(▲2名)		90歳台・・・2名(±0名)		90歳台・・・2名(±0名)	

会員推移 (5年きざみ) 令和22年までの予想



会員推移 (5年きざみ) 令和7年3月31日現在まで



一般の方へ

苦情解決業務 | お近くの建築士事務所 | リフォーム支援課

お近くの建築士事務所

茨城県建築士事務所協会所属の建築士事務所をお探しします。

条件を指定して絞り込む

水戸市

フリーワード検索

検索



検索結果

間建築設計室

所在地 〒310-0851 水戸市千波町2259-9

TEL 029-244-7628

FAX 029-244-7641

会員名 小野瀬 遼

(有)浅野建築設計事務所

所在地 〒310-0851 水戸市千波町2819-13

TEL 029-291-6918

FAX 029-291-6928

会員名 浅野 祐一郎

東建設(株)一級建築士事務所

所在地 〒311-4153 水戸市河和田町2996-9

TEL 029-253-2021

FAX 029-252-8483

会員名 小口 辰也

(株)安達建築設計事務所

所在地 〒310-0805 水戸市中央2-8-87(水戸第2ビル)301

TEL 029-246-6431

FAX 029-246-6432

会員名 安達 芳男

(株)アメニティ・ジャパン一級建築士事務所

所在地 〒310-0804 茨城県水戸市白鳥1-7-11

TEL 029-297-8885

FAX 029-297-8985

会員名 川上 英剛

一般の方へ

苦情解決業務 | お近くの建築士事務所 | リフォーム支援隊

お近くの建築士事務所

茨城県建築士事務所協会所属の建築士事務所をお探します。

条件を指定して絞り込む

つくば市 ▼ フリーワード検索 検索



検索結果

(株)相澤建築設計事務所

所在地 〒300-1256 つくば市森の里1169-2
TEL 029-876-0617
FAX 029-876-0679
会員名 相澤 晴夫

(株)青木住設

所在地 〒300-2645 つくば市上郷1351
TEL 029-847-2821
FAX 029-847-8314
会員名 青木 孝二

(株)青山建築設計事務所

所在地 〒305-0033 つくば市東新井14-3シ/ビル4F
TEL 029-851-7430
FAX 029-851-7600
会員名 青山 立美

(株)アゲル

所在地 〒305-0817 つくば市研究学園4丁目1-9
TEL 029-886-3221
FAX 029-886-3225
E-mail info@ager.jp
URL <https://www.ager.jp/>
会員名 デイトフォード黒

アトリエ03 建築設計事務所

所在地 〒305-0023 つくば市上ノ宮526
TEL 029-879-7077
会員名 岡野 貴之

(株)アルテック

所在地 〒305-0034 つくば市小野崎88-22
TEL 029-886-8099
FAX 029-860-6399
会員名 野河 徳輔

(株)andHAND建築設計事務所

所在地 〒305-0033 つくば市東新井29-13
TEL 029-855-3055

さあ、建築士会へ!!

茨城県建築士会では県内24支部および、青年・女性委員会などの各委員会において色々な研修・セミナーや交流活動を行っています。
また、会員限定の「けんぱい」建築士賠償責任補償制度も充実しています。

Home

建築士免許申請

会員の入会メリット

書籍・保険

お役立ち情報

アクセス

「士会員限定」トータルサポート
建築士業務に関する賠償保険や所得補償など

全国の建築士会

士会HP



(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

紹介者会員				年 月 日本受付					
年 月 日 入会を申し込みます。									
フリガナ 氏 名			性 別	男 ・ 女					
生 年 月 日	昭和 平成	年 月 日 生まれ	会 報 誌 送 付 先	自宅 ・ 勤務先					
現 住 所	〒 □□□□-□□□□		Eメール						
			T E L						
勤務先名称			Eメール						
勤務先住所	〒 □□□□-□□□□		T E L						
			F A X						
級 別	1 級 ・ 2 級 ・ 木造								
建築士免許 登録番号	取得県 □□□□ 県 第 □□□□ 号	登録年月日	年 月 日						
支 部 名	支 部 長 印	会 員 種 別	正会員 ・ 準会員						
※事務局記載									
※会員番号	□□□□□□	※顔写真	□	※名簿	□	※会報	□	※入力	□

ご注意：記載は楷書で丁寧をお願いいたします。また、顔写真1枚を添えてください。

(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

会員種別	賛助会員	申込年月日	年 月 日
(フリガナ) 事業所名	印		
(フリガナ) 代表者	郵送物宛名 <input type="checkbox"/>		
(フリガナ) 担当者	郵送物宛名 <input type="checkbox"/>		
所在地	〒□□□□—□□□□		
電話番号	()	—	
FAX 番号	()	—	
E メールアドレス			
HP アドレス			
事業内容			
紹介者			

※ 入会金 1万円(初年度のみ) 年会費 3万円

※ 受付年月日 年 月 日

※ 受付 No. _____

「CPD」及び「専攻建築士」登録者数の変遷

年度	CPD 新規登録	CPD 登録者	専攻建築士	会員数	備考
平成22年度	154	154	1	2,517	H22～CPDオープン化、カード式
平成23年度	36	190	3	2,442	
平成24年度	36	226	1	2,395	
平成25年度	25	251	16	2,314	専攻、H20年 = 38名中
平成26年度	15	266	2	2,275	専攻、H21年 = 06名中
平成27年度	11	277	0	2,199	専攻、H22年 = 01名中
平成28年度	10	263	2	2,123	専攻、H23年 = 03名中
平成29年度	7	262	0	2,077	専攻、H24年 = 01名中
平成30年度	24	268	9	2,037	専攻、H25年 = 16名中
令和元年度	11	269	1	1,981	専攻、H26年 = 02名中
令和2年度	6	232	0	1,913	専攻、H27年 = 0名
令和3年度	10	236	2	1,842	専攻、H28年 = 02名中
令和4年度	15	252	1	1,817	専攻、H29年 = 0 R4=1
令和5年度	15	254	1	1,762	専攻、H30年 = 9名中 ⇒ 2名
令和6年度	7	245	0	1,691	専攻、R1年 = 1名中
令和7年度	6	225	0	1,630	専攻、R2年 = 0名
(ご参考)R3～ R7迄5年間の 合計	53	225	4		専攻は 合計 4名
					専攻は5年に1度更新
備考	他、非会員 34名				

CPD 登録料の変遷

年度	新規(会員)	新規(非会員)	更新(会員)	更新(非会員)	備考
令和4年度	3,300	16,500	1,000	13,200	
令和5年度			2,000		
令和6年度	4,400	19,800	3,000	16,500	
令和7年度	5,500	22,000	3,300	18,700	
令和8年度		24,200(案)		20,900(案)	本部会費値上げ

(案)

令和8年度(2026年度)

新様式第1号

建築士会CPD制度 参加登録申込書(新規用)

茨城県建築士会会長 殿

- 私は、日本建築士会連合会および建築士会が建築士会CPD規則に基づき実施する「建築士会CPD制度」に参加し、建築に携わる技術者として必要な能力の開発に資する活動を継続的に行うとともに、その状況を社会に明示することを通じ、公共の福祉の増進並びに自らの知識及び技術の向上を図ることに努めます。
- CPD参加登録に必要な情報について、下記および別紙により提出いたします。
- CPDを実施するために必要な費用について、建築士会の定める金額を建築士会が定める方法で納めます。

令和 年 月 日

ふりがな

署名(氏名) _____ 印

支部名(会員の場合) _____ 支部 _____

※以下の基本情報・登録情報等については、建築士会が行うCPD制度の目的に関連する以外の目的には使用いたしません。

1. 参加者基本情報

勤務先名称				
所属部署・役職				
勤務先住所(無職の場合は自宅住所) 〒				
TEL		携帯TEL		
e-mail		生年月日 (西暦)	年	月 日
所属団体	1. ()建築士会 2. JIA 3. その他 ()			
建築士別	建築士の別 (<input type="checkbox"/> 一級 <input type="checkbox"/> 二級 <input type="checkbox"/> 木造) 建築士登録番号() ※ 二級・木造建築士の方は、登録県名も記入			
他資格	構造設計一級建築士番号 () 設備設計一級建築士番号 () 建築・電気工事・管工事 施工管理技士 番号 ()			
建築士会非会員の場合	建築士会へ入会を	1. 希望する 2. 希望しない		
CPD推奨単位12単位を取得した場合、 ホームページで氏名を公開することについて		1. 希望する 2. 希望しない		

2. 参加・登録費用(初期登録費、CPDカード作成費、CPDデータ登録費および管理費、建築CPD情報提供制度利用費を含む)

会員 5,500円 非会員 24,200円 (R7より+2,200円)

※申込書にご記入・押印の上、登録費を添えてお申込みください。

郵便局口座へ振込み(郵便局から振込む場合)

口座記号番号: 00120-8-59384

加入者名: 社団法人茨城県建築士会

3. CPDカード作成のための基本情報は正確にご記入ください(氏名、ふりがな、TEL、勤務先名称および建築士免許番号など)

4. 建築CPD情報提供制度の利用

・ 建築CPD運営会議(事務局:(財)建築技術教育普及センター)が運営する建築CPD情報提供制度を利用するために建築士会CPD制度の履修データを、建築CPD運営会議へ提出します。

※事務局記入欄(CPD登録番号 0800□□□□□□□□)

【参加・登録費納入方法について】

下記、①～③による、いずれかの方法にて、お納めください。

① 事務局へ直接持参(現金にてお支払い)

② 郵便局口座へ振込み

(郵便局から振込む場合)

口座記号番号: 00120-8-59384

加入者名: 社団法人茨城県建築士会

③ ゆうちょ銀行へ振込み

(銀行から振込む場合)

支店名: 〇一九(ゼロイチキュウ)店

種別: 当座 口座番号: 0059384 口座名義: シャ)イバラキケンケンチクシカイ

※②・③については支部名と氏名の記入をお忘れのないようお願いいたします。申込書はご郵送ください。

【CPDカードの発行・送付について】

・カードの発行まで約2ヶ月かかります。

・出来上がりましたら申請書に記載の勤務先へご郵送いたします。

表1 CPD 制度改正の新旧比較

		旧制度	平成22年4月より適用
CPD参加資格		建築士会会員限定	すべての建築士 施工管理技士等すべての建築関連技術者
履修実績の記録・登録	データ登録・管理方法	バーコード方式 各建築士会のPCで管理	カード方式(名簿・Excel等研修主催者からのデータ送付) 建築士会専用サーバーで管理
	参加型研修	講習会場等でのバーコードの配布と手帳の提出により登録	講習会場でカード等による出席記録に基づき登録
	認定教材	誌上掲載の設問への解答とバーコードを手帳に貼付して士会へ提出	HP上で設問に答えた後に、事務局の確認を経て登録
	事後申請の扱い	自己申告に個別に対応	原則認定外。ただし、内容等により認定する場合もある(有料)
履修対象プログラム	プログラム種別	社会貢献型	情報提供型(社会貢献型、講師)
		情報提供型	
		委員会活動型	-対象外-
		認定研修	参加型研修(特別認定研修、講習会、法定講習、見学会等)
		その他講習会・見学会等	
		認定教材による自習	認定教材による自習
プログラム認定	プログラム評議会等により認定	事前に申請されたプログラムについて、全国統一基準による厳格な認定を原則とする	
	プログラム認定手数料なし	プロバイダーから認定料または個別のプログラム審査料。ただし、公的機関は無料	
履修実績の活用	単位換算	研修別により重み付け	実時間換算とし、重み付けは行わない
	能力開発の目標	年間36単位	年間12単位以上
	履修実績の確認	証明書の交付により確認	HPで常時確認可能
	履修実績の提供	活用先にあわせて、手作業で提出データを整理、提出	必要なときに必要なデータを容易に編集、提供可能

(2) 履修対象プログラムの厳格化

制度改正に伴い、対象となるプログラムは、審査委員会による「事前認定」を原則とします。また、「実務による研修」、「委員会活動」、「認定教材を除く自習型研修」は対象外となります。そして、単位換算も研修による重み付けを無くし、休憩時間なども控除した厳格な実時間単位(30分を超える時間は1時間)に統一します。

(3) 年間12時間以上の履修の推奨

12時間/年以上の履修者を「CPD 建築士」、「CPD 技術者」として「努力する建築士・技術者の証」として建築士会ホームページで公開します。また、推奨時間は専攻建築士の認定基準にも活用します。

(4) プロバイダー登録、プログラムの認定、出席者リストの提出方法

講習会等の主催者(プロバイダー)が、自ら行う講習会等を建築士会 CPD 認定プログラムとする場合、先ず建築士会へプロバイダー登録をします。

次に、プロバイダーがプログラムの認定申請を行い、建築士会内の審査会がその内容を審査します。認定されたプログラムの開催終了後にプロバイダーは出席者リストを建築士会へ提出します。

(5) 認定プログラムの公開(表2、表3参照)

本会で認定するプログラムについては、ホームページにおいて公開すると共に、本格実施の際には CPD 参加者専用メーリングリストにより、直接 CPD 参加者へ認定プログラム情報として配信いたします。

プログラムの表示は、①形態(講習会、見学会等)、②分野(倫理・法令、設計・監理等)、③実施場所都道府県、④プロバイダー名、⑤実施日あるいは実施期間等下の条件で絞込み検索が可能です。

(6) 建築 CPD 情報提供制度への登録

本会で認定するプログラムについては、(社)日本建築家協会および建築 CPD 情報提供制度(事務局:(財)建築技術教育普及センター)においても認定プログラムとして登録されますので、取得単位がそこで活用されます。ただし、**雑誌閲覧及びHPの「認定教材」**については、情報提供制度の対象とは**なりません**。

(7) 行政機関等における CPD の活用

行政機関の工事入札等において、平成 **25 年 9 月現在で 40 県と 32 市 4 町**および国土交通省が**建築士会 CPD を加点の対象**としています。すべての建築士と建築施工管理技士にも CPD をオープンにすることで、今後、新たに発注工事入札等において CPD を加点対象とする機関は加速的に増えると予想されます。

したがって、今後、CPD に業務的なメリットを感じて新たに同制度に参加する建築技術者が増えると同時に CPD 単位取得のために各種の研修プログラムに参加される機会も増えるものと予測します。

(8) 認定対象となるプログラム

認定プログラムの対象となるプログラムは、「建築士会 CPD プログラム認定基準」および「建築士会 CPD プログラム判定指針」に基づき、建築士会 CPD 審査委員会が審査を行います。

表2 建築士会 CPD プログラム分類表

プログラムの形態		プログラムの内容	単位換算基準
参加型研修	士会特別認定研修	「すべての建築士のための総合研修」等建築士会が主催し、プログラム審査評議会が CPD 制度の中核的研修として位置付ける研修	時間×1

	認定講習等	基準・規準・指針・マニュアル等講習会、セミナー/シンポジウム/講演会/ワークショップ、各団体大会、学会・協会主催の研究発表会、企業内研修（所属組織内における技術・研究発表会、研修会）、通信教育等	時間×1
	法定講習	定期講習等、建築士法その他建築関連法規で定められた講習	時間×1
	認定見学会等	見学会、国内外視察、企業内研修（所属組織内における見学会、国内外視察）	時間×1
	大会等参加	建築士会等の団体の主催する全国大会に行われる講演等各種研修	時間×1 ただし式典は除く
情報提供型研修	講師等	基準・規準・指針・マニュアル等講習会、セミナー/シンポジウム/講演会/ワークショップ、各団体大会の講師、学会・協会主催の研究発表等、企業内研修（所属組織内における技術・研究発表会、研修会、見学会、国内外視察）見学会・国内外視察の講師	時間×1
	社会貢献型活動	建築士会等の団体が行う住宅相談、震災時等建築物応急危険度判定、裁判所等に派遣された鑑定人・調停人活動、地方自治体主催の建築相談、まちづくり活動等の緊急性又は公共性の高い活動	時間×1
専門書購読	認定読書	プログラム評議会で認定する建築技術書（ただし、教養書的内容の本は上限3単位）	内容と頁数により1~5単位

表3 建築士会CPDプログラム分野分類表

プログラムの分野	倫理	倫理	
		法律、規準、基準、規格、建築紛争	
		その他	
	設計・監理分野	計画系	建築意匠、建築計画、建築材料、街づくり、計画系他
		構造系	力学・動力学、構造解析、構造材料、各種構造学、基礎構造、地震・耐震工学、構造系他
		設備系	空調、衛生、電気、輸送、全般、その他
	施工管理分野	建築系	
		設備系	
	マネジメント分野	生産・管理	企画、事業計画、CM、PM、RM、コスト管理、積算、品質保証、安全管理、コンサル設計他
		事務所等運営	企業・事務所運営、契約他
関連分野	関連分野	建築論、建築史、技術動向、コンピュータソフトウェア、工学技術に関する外国語、土木、都市計画、保存、景観、福祉他	

(9) 講習会等の講師の場合

建築士会認定プログラムである講習会等の講師としての活動をCPD単位とする場合、プロバイダーが出席者リストの講師欄にCPD番号とカナ氏名を記入し、士会事務局へ提出します。

(10) 認定教材の場合

連載講座等の認定教材の履修登録は、教材で学習後に誌上に掲載される設問への解答をCPD参加者がネット上の専用画面（建築士会CPDシステム・参加者用画面）で入力し、正解の場合に建築士会（事務局）がCPD単位として登録します。システムの使用には、所定のURLからシステムにログインして行います。（※システムのご利用方法は次項を参照願います。）

(11) 他団体CPD制度とのデータの交換（表4参照）

本会と、ほぼ同仕様のシステムを運用しているJIA（日本建築士家協会）等とはデータの交換が可能となり、建築士会で認定した研修プログラムの出席データは、JIAへも自動的に提出されます。また、JIA等の認定プログラムに出席した場合も、それらの団体から建築士会へ出席データが送られ、建築士会に登録されます。なお、建築CPD情報提供制度（事務局：（財）建築技術教育普及センター）へもCPD履歴データを送り、同制度を活用します。

表4 建築士会CPD制度に登録できるCPD単位

参加プログラム	CPD単位登録先		
	建築士会	JIA	情報提供制度
建築士会認定プログラム	◎	◎	○（一部の法定講習・認定教材を除く）
JIA認定プログラム	○（自習・委員会を除く）	◎	○（一部の法定講習・認定教材・自習・委員会を除く）
情報提供制度認定プログラム	◎	◎	◎

(12) 専攻建築士の登録、更新への活用

建築士の専門領域を建築士会が表示する専攻建築士の登録および更新の要件として、CPD単位が活用されます。新規登録には、直近1年間で新CPD研修12単位があれば、専攻建築士の登録申請ができます。

また、専攻建築士の登録更新時には、直近5年間でCPD60単位があれば更新可能です。（ただし、新規登録は、別途、実務実績も必要となります）

2. 建築士会CPDシステム 参加者用システム利用方法（詳細は、HPのマニュアルを参照願います）

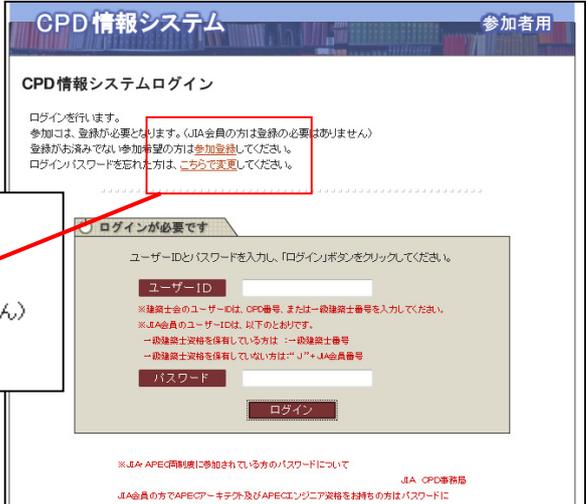
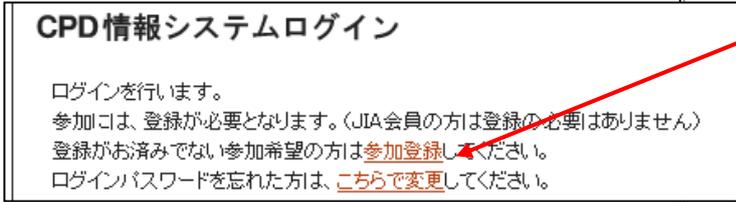
建築士会CPDシステム/参加者用システムでは、次のことが利用できます。

- ①取得単位数の確認 ②認定教材の設問への解答 ③ポートフォリオの作成

(1) システム利用のための初期登録（図3参照）

はじめてこのシステムを利用するときには、初期登録を行いIDとパスワードを入手する必要があります。日本建築士会連合会のホームページからシステムにアクセスしてください。 [ログイン方法（図3）](#)

- ①「参加者ログイン画面」の「参加登録」の文字をクリックし、「参加登録画面」に進みます。
- ②「参加登録画面」CPD 番号（CPD 手帳をご参照下さい）と生年月日(西暦8桁/例：1960年10月5日の場合「19601005」)を入力しログインを押します。



- ③次の画面で「メールアドレス」を入力して「登録」を押すと指定のメールアドレスに「ID」、「パスワード」が配信されます。
 なお、登録時に CPD メールマガジンの配送を希望するにチェックを入れると、講習会等の情報が指定のメールアドレスに配信されます。



(2) 取得単位の確認方法 (図4参照)

- ①「参加者用画面」のシステムログインを押します。
- ②「ユーザーID」にCPD 番号(または建築士番号)と「パスワードID」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックして「参加者用」画面に入ります。

- ③士会用「取得単位確認」を押すと履修履歴と取得単位が確認できます。
- ④表示された履修履歴の印刷欄にチェックを付与し、「次へ(印刷)」を押すと、個人毎のポートフォリオを作成できます。ただし、証明書は士会事務局から交付を受けてください。

履修履歴一覧表 (図4)

■認定研修参加時にご記名頂きますので、会員の方はどなたでも研修の登録が可能ですが、上記システムの利用にはCPD管理費がかかります。(本会会員は、2,000円 非会員は12,000円)
 なお、CPD実績証明書の発行を希望される方は、お手数でも事務局までご連絡下さい。証明書の発行手数料は500円です。

開催日時 (開催日)	プログラム名 (テーマ)	主催者 (自己研修名)	形態	分野	単位
2007年6月20日	最高裁判所見学会	xxxxxxxxxx	Kypp	Bzsz	1
2007年6月20日	最高裁判所見学会	xxxxxxxxxx	Kypp	Bzsz	3
2007年5月21日	eラーニング講習会「建築物の振興に関する居住性能評価設計」	xxxxxxxxxx	Kypp	Bzsz	3
2007年5月21日	eラーニング講習会「建築物の振興に関する居住性能評価設計」	xxxxxxxxxx	Kypp	Bzsz	2
2007年4月10日	新入社員導入研修(3)	xxxxxxxxxx	Kypp	Bzsz	2
2007年4月10日	新入社員導入研修(3)	xxxxxxxxxx	Kypp	Bzsz	8
2007年4月6日	新入社員導入研修(1)	xxxxxxxxxx	Kypp	Bzsz	1
2007年4月6日	新入社員導入研修(1)	xxxxxxxxxx	Kypp	Bzsz	6



(一社) 茨城県建築士会 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 978-30 建築会館2階
 TEL:029-305-0329 FAX:029-305-0330
 URL <http://homepage1.nifty.com/ishikai/>

CPD・専攻建築士制度の制度についても確認・お問合せ (公社) 日本建築士会連合会
 東京都港区芝 5-26-20 建築会館5階 TEL 03(3456)2061 URL <http://www.kenchikushikai.or.jp>

CPD実績証明書交付申請書

私は、下記の期間のCPD取得単位の証明書の発行を申請します。同封の**180円切手**を貼った**返信用の封筒(角2サイズ)**にて、私宛てにご郵送をおねがいします。

年 月 日

(一社) 茨城県建築士会会長 様

申請者

・ 建築士会会員 (支部) ・ 非会員建築士 ・ 建築施工管理技士 <small>(上記該当項目に○印をお付けください)</small>	
フリガナ	
氏 名	⑩
CPD番号	
CPD実績証明書 送付先住所	〒
日中、連絡の取れる 電話番号(携帯可)	
CPD実績証明書 発行希望年度	年度 ~ 年度まで

払込受領書(利用明細書)貼付欄

証明書発行費(一通)

1,100円(税込み)

振込先：郵便局

口座記号番号 00120-8-59384

加入者名 社団法人 茨城県建築士会

※ CPD実績証明書は、CPD発行費の納入確認後、一週間(7日)後位に郵送します。

※ 申請書等に不備がある場合は、更に時間を要する場合がございます。

会員 各位

「CPD 制度」 新規登録及び更新のご案内

早速ではございますが、今般の物価高騰ならびに通信費等の値上げ等により令和7年度からCPDの新規登録料ならびにCPD更新料については、値上げをさせていただきます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

つきましては、「CPD 制度」の更新及び新規登録の手続きは、郵便振込み用紙により郵便局等でお振込み、または現金書留等により、下記金額を納入いただきます。

■ 更新される方 . . . 3,300 円

■ 新規で登録される方 . . . 5,500 円

★ 令和7年度も建築士会本部主催の研修・講習会やセミナーの当日に、CPD カードを持参し受付にご提示して頂いた方には参加費を500円キャッシュバックいたします。
(但し、当日までに更新済みの方に限りです。)

【 納入方法について 】 . . . 下記の方法により、お納め下さい。

- ① 事務局へ直接持参 (現金にてお支払い)
- ② 郵便局口座へ振込み (振込手数料は、お客様のご負担でお願いします)
(郵便局から振込む場合)
口座記号番号： 00120-8-59384
加入者名： 一般社団法人茨城県建築士会
(郵便局に備え付けの振込用紙で、お振込み可。)
- ③ ゆうちょ銀行へ振込み (振込手数料は、お客様のご負担でお願いします)
(銀行から振込む場合)
支店名： 〇一九 (ゼロイチキュウ) 店
種 別： 当座 口座番号： 0059384
口座名義： シャ) イバラキケンケンチクシカイ

※ 「CPD 制度」に新規登録を希望される方は、下記へご記入の上、事務局までFAX等により申請してください。後日、正式なCPD制度参加登録申込書をお送りします。

FAX 029 - 305 - 0330

氏 名 _____ (_____ 支部)

連絡先 TEL _____

(案)

2026年4月1日

建築士継続能力開発

CPD登録者の皆様へ(CPD登録者専用)

一般社団法人茨城県建築士会
会長 柴和伸
CPD委員長 小川 憲一

早速ではございますが、CPD制度登録者の皆様に、更新のご案内をさせていただきます。

更新の手続きは、**CPD更新費の20,900円(R7より+2,200円)**について、同封の郵便振込み用紙により郵便局等でお振込み、又は現金書留等により、本年**4月30日までに納入**をいただきまして完了となります。

※ご 注 意

CPD登録事項に変更がございましたときは、速やかに変更事項をお知らせくださいませ。

また、**CPD更新費の20,900円**について、本年**4月30日までに納入いただけない場合は、CPD制度登録を消します**ので、**ご注意ください**。

【 CPD更新費 20,900円の納入方法について 】・・・下記の方法により、お納め下さい。

① . 事務局へ直接持参 (現金にてお支払い)

② . 郵便局口座へ振込み (郵便局から振込む場合)

口座記号番号： 00120-8-59384

加入者名： 一般社団法人茨城県建築士会

(**郵便局に備え付けの振込用紙で、お振込み可。**)

③ . ゆうちょ銀行へ振込み (銀行から振込む場合)

支店名： 0-9 (ゼロイチキョウ) 店

種別： 当座 口座番号： 0059384

口座名義： シャ) イバラキケンケンチクシカイ

※その他 「CPD制度」登録の取り消しを希望される方は、下記へご記入の上、事務局まで FAX 等により申請してください。

FAX・・・029 - 305 - 0330 建築士会 CPD 係り

私は、このたび一身上の都合により、建築士会「CPD制度」登録の取消しを申請します。

CPD登録番号： _____

氏 名： _____ (_____ 支部)

連絡先： TEL _____

※CPD係り受付日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

CPD・専攻

CPD・専攻建築士委員会

令和 8 年度 事業計画・収支予算書 (案)

事業計画	収入	支出	収支差額	算定基礎	
CPD制度推進費	1,204,000	193,000	1,011,000	収入	
現在、登録会員191名 非会員34名				1.登録更新費@3,300×180名=	594,000
				2.非会員更新費 @18,700×30名=	560,000
				3.新規 @5,500×5名	28,000
				4.新規(非会員) @22,000×1名	22,000
					1,204,000
例年 新規は会員 5名位 非会員 1名位				支出	
				1.連合会登録仕入れ費用(カード代含む)	
				連合会会員登録料 @250×185名 =	46,000
				連合会非会員登録料 @500×30名 =	15,000
				スキャナー代 @15,000×2台=	0
				新規カード作成費 @1100×5名 =	6,000
				2.パソコンソフト・機器・備品代	0
				3.審査・認定費用(謝礼・その他含む)	
				審査員名(名分審査)	0
				4.証明書 @110×30名分 =	3,300
				6.通信費 案内@110×220名×1回	24,000
				7.割引補助 @500×50名×1回	25,000
				8.雑費	73,700
					193,000
専攻建築士制度推進費	12,000	5,900	6,100	収入 新規@27,000 × 0 = 0 更新@12,000 × 1 = 12,000	12,000
(令和8年度の 更新の対象者は2名)				支出	
				1.連合会費(登録料 3,300円×1名)	3,300
				2.連合会費(審査料 2,200円×1名)	2,200
				3.評議員認定費用(謝礼・その他含)	0
				審査員 名(0名分審査)	
				4.証明書 @300×1名分=	300
				5.ブロック会事務費	0
				6.通信費	0
				7.印刷費 @84 × 1名 =	100
				8.雑費	0
					5,900
合計	1,216,000	198,900	1,017,100	収支差額	1,017,100
前年度予算額	1,392,000	207,000	1,185,000		
対前年比	△ 176,000	△ 8,100	△ 167,900	※ 前年比.....収支	167,900 減

2026年2月 わくわくセミナーのお知らせ

(一社)茨城県建築士会 女性委員会
女性委員長 大谷 美由紀
担当 若柳 綾子



『古民家の構造の成り立ちパートII』

～昨年度大好評の第2弾～

古民家の再生のとき

趣を残して現行法にを順守するには？

昨年度大好評のセミナーを聞き漏らした方も
さまざまに工夫した手法を学びたい方も
下記により具体的なご説明を頂きますので
奮ってご参加くださいませ。

記

日時：2026年3月4日（水）
19:00 ～ 21:00

会場：土浦市三中公民館 1F 第2学習室

〒300-0843土浦市中村南4-8-14 TEL：029-843-122

講師：安藤 邦廣先生

筑波大学名誉教授 高額博士
里山建築研究所 主宰



会費：無料（飲み物付き） 建築士会員以外の方は1,000円

※ 参加申込みは、下記へFAX又はメールにて、2月24日（火）までをお願いします。

※ 申込先 (一社)茨城県建築士会事務局 (TEL：029-305-0329)

FAX：029-305-0330

E-mail：ibashikai0329@nifty.com

☆ 事前準備について、ご質問がある方は、事務局までお問合せ下さい。☆

3月4日（水）の わくわくセミナー に 参加 します

支部名 _____ お名前 _____ CPD登録 有 ・ 無

当日の連絡先(携帯番号等)

資料準備の都合上、キャンセルされる方は事前にご連絡をお願いします。

◆事前質疑受付中（訊いてみたいことをご記入ください）

第6回 日本建築士会連合会 建築作品賞 応募要項

目的

日本各地の建築士による、気候風土や地域の課題に真摯に向き合い、まちづくりや地域づくりに貢献・寄与している建築作品を募る。その中から、特に創意と工夫に満ち、地域の建築への広がり期待される建築作品の設計者である建築士を顕彰する。

応募対象

対象区域 日本国内とする。
対象建物作品 以下のカテゴリーごとに、建築作品を募る。令和3年(2021年)4月1日以降に検査済証の交付を受けた建築で、規模は問わない。ただし、リノベーションによる建築で確認申請不要のものについては、前記、期日以降に竣工したもので建築基準法令等に違反していないことが確認できればよい。
どのカテゴリーで応募するかは、応募者の主観的な判断でよい。(カテゴリーの妥当性は審査に影響しない)

1 新築の建物

- 1-1 居住・生活空間系の建物
- 1-2 教育・文化・医療・福祉系の建物
- 1-3 商業・業務・交通系・宿泊・その他の建物

2 リノベーションによる建物

(主たる部分がリノベーションであれば新築・増築を含んでよい。)

※カテゴリーごとの建物は下記の「対象建物のカテゴリーごとの建物例」を参照。

※応募者は、あらかじめ建物所有者の了解を得て応募すること。

対象者

応募に係る建物の表彰対象設計者は、主たる設計者として実質的に設計し、かつ応募時に土会の正会員である者に限る。なお、共同設計者は表彰対象設計者ではない。U40建築賞の対象者は、上記の表彰対象設計者の内、応募建物の竣工時に40歳以下であり、かつ応募時にU40建築賞の審査を希望した者に限る。

所有者の了解

応募者は、あらかじめ建物所有者の了解を得て応募すること。

対象建物のカテゴリーごとの建物例

1 新築の建物	1-1 居住・生活空間系の建物	戸建住宅 別荘
		集合住宅 リゾートマンション
		寮 学生寮 独身寮
	1-2 教育・文化・医療・福祉系の建物	保育園 幼稚園 こども園
		小学校 中学校 高等学校
		大学 研究所
		研修所*宿泊施設が主要なものは1-3分類
		図書館 博物館 美術館 展示場
		ギャラリー 各種資料館
		集会施設 文化会館 劇場
		コンサートホール 多目的ホール
		スポーツ施設
		病院 診療所
		医療・看護・介護・福祉施設
		高齢者 障がい者施設
宗教施設 斎場		
1-3 商業・業務・交通系・宿泊・その他の建物	店舗 ショッピングセンター	
	事務所	
	官公庁舎等施設	
	駅・空港・ターミナル等交通施設	
	ホテル 旅館 保養所	
	研修所*宿泊施設が主要なもの	
	生産施設 物流施設	
ごみ焼却所、清掃工場、発電所		
その他		
2 リノベーションによる建物		
※複合施設(複数の主要用途を有する建物、建物群、地域再開発)のカテゴリーについて		
①複数の用途の中で主要用途の明らかなものは、その用途のカテゴリーとする。		
②複数の主要用途が1-1と1-2の二つのカテゴリーの場合は1-2とする。		
③複数の主要用途の内、1-3の用途を含むものは1-3とする。		
④複数の主要用途の中で特に応募者が応募対象とする用途がある場合は、その用途のカテゴリーでの応募も可能とする。ただしこの場合も複合施設全体の評価と、その中での特に応募対象用途のあり方を含めて審査する。		

応募資料

申込 連合会ホームページの建築作品賞のMicrosoft Formsより必要事項を記入する。
Microsoft Forms URL <https://forms.office.com/r/K3Emm1JcTY>

審査資料 ①図面(平面図、断面図、配置図、矩形図等作品説明に必要なもの)、写真、および説明書等をA3判・10ページ以内の1ファイルのPDFデータとし作品名をタイトルとする。(最大容量50MB以内) ②審査資料に掲載の写真(JPEG形式1600×1200程度)は別途フォルダにまとめる。
①と②すべてのデータを、zipファイル(タイトルを作品名)とし、下記URL(Nextcloud)へ提出する。

<https://next.kenchikushikai.or.jp/index.php/s/ny8bQQTDFDewcn9>

応募参加費

参加料は無料とするが、応募に要する費用は、応募者の負担とする。

応募締切および提出先

令和8年3月31日(火)17:00までに

Microsoft Formsに入力し、Nextcloudへデータの格納を完了すること。

選考の方法

応募作品は、本会におかれた審査委員会において、一次審査(書類審査)、二次審査(現地審査)を受け最終選考会で受賞者を決定する。

審査基準

カテゴリーごとに、その建築の意匠性の深度および計画・構造・設備・構法の設計合理性を審査する。まちづくりや地域づくりへの貢献・寄与に関しては、以下の観点から評価する。

- ・地域の自然環境・気候風土と良好な関係を作っているか
- ・地域の街並み・景観の形成について規範性が示されているか
- ・地域の歴史性、文化性、社会性が表出されているか
- ・地域の人々の安全・便利・快適な暮らしの実現に寄与しているか
- ・その地域に人々を呼び込み、賑わいを創出しているか

表彰

表彰は、理事会の議を経て、建築士会全国大会で行う。カテゴリーごとに優秀賞1点及び奨励賞を選考し、優秀賞の中から大賞を1点選考する。U40建築賞は、応募時に併せて審査を希望した40歳以下の筆頭設計者より選考する。各賞には賞状を贈るほか、各カテゴリーの優秀賞には賞金10万円を贈る。加えて大賞には賞金10万円を贈る。

受賞者等の発表

作品賞受賞者本人、各建築士会および関係機関に通知するとともに、本会誌「建築士」およびホームページ等に公表する。

また、会誌「建築士」構成の都合上、共同設計者は顔写真の掲載を見送る場合もある。

一次審査(書類審査)で落選した場合の通知は行わない。

※本会が表彰作品の関係資料を展示および会誌、ポスター、ホームページおよび建築・空間デジタルアーカイブス(DAAS)、報道機関での受賞作品掲載等、コンソーシアム等に掲載等をする場合は、無償で使用できるものとする。

審査委員会 順不同敬称略

審査委員長 青木 淳[AS]

審査副委員長 可児才介[可児アトリエ]

審査委員

箆島 亮[株式会社山下設計]

後藤 治[工学院大学]

菅 順二[株式会社竹中工務店]

佐藤光彦[日本大学]

三澤 文子[有限会社エムズ建築設計事務所]

大谷 弘明[株式会社日建設計]

横内 敏人[有限会社横内敏人建築設計事務所]

鮎川 透[株式会社環・設計工房]

・・・取扱書籍〔図書目録〕・・・（2026年1月26日現在（消費税10%込み））

※ 士会員の方には割引がございます（一部除外商品あり）。・・・☆ 士会員の方は、支部名又は会員証等をご提示下さい。

書籍名	一般	会員
建築申請memo 2026	5,390円	4,851円
建築消防advice 2026	5,830円	5,247円
令和7年度版 建築基準法令集（3冊セット）	15,400円	13,860円
茨城県宅地開発関係資料集（令和7年7月版）2冊1セット	11,000円	7,700円
茨城県建築基準関係資料集（令和7年4月版）	8,800円	5,500円
2025 図解建築法規	4,180円	3,762円
工事請負契約約款（民間(七会)連合協定）	1,100円	990円
建築設計・監理等業務委託契約書類	1,320円	1,188円
建築設計・監理等業務委託契約書類（小規模向け）	1,100円	990円
確認済表示板（スチロール製）	550円	330円
会員バッジ（会員限定）	士会員限定	2,460円
道路位置指定申請図（トレーシングペーパー）	880円	440円
積算資料 ポケット版 住宅建築編 2025	3,080円	2,772円
積算資料 ポケット版 リフォーム編 2026	3,080円	2,772円
積算資料 ポケット版 マンション修繕・再生編 2025-2026	3,080円	2,772円

書籍名	一般	会員
公共建築工事積算基準 令和7年版	10,450円	9,405円
令和5年基準 公共建築工事積算基準の解説 建築工事編	11,550円	10,395円
令和5年基準 公共建築工事積算基準の解説 設備工事編	12,100円	10,890円
建築施工単価 '25-10 秋	5,060円	4,554円
建築施工単価 '26-1 冬	5,060円	4,554円
改訂11版 建築工事の積算	6,496円	5,846円
改訂 新・解体工法と積算	6,380円	5,742円
工事歩掛要覧 建築・設備編	9,240円	8,316円
住宅リフォーム見積作成の手引き	3,850円	3,465円
木造住宅の見積もりと コストダウン	3,850円	3,465円
建築基準関係法令集(B5判) 2026年版(建築資料研究社)	3,080円	2,772円
建築関係法令集(告示編)令和7年版(井上書院)	3,080円	2,772円
建築関係法令集(法令編)令和7年版(井上書院)	3,080円	2,772円
建築関係法令集(法令・告示を一冊)令和7年版(井上書院)	3,080円	2,772円

★ ご注文書（PDF）は、こちらです ★

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
[代引き注文書 2025年7月版](#)



↑
 建築士会携帯サイト